

種子島の歴史・文化・自然について。

テーマ:(種子島の自然)

写真やイラスト及びその説明 / 場所(地図上に書き込み, 説明を書く)

※ 注意…単なる引き写しではなく、オリジナル性を追究し、面白い内容を目指すこと。

★ ウミガメ

・西之表市国上の浦田海水浴場では

毎年、ウミガメの赤ちゃんが見れます。

◎ ウミガメの赤ちゃんについて

・全長 6cm、体重は20kgほどです。

・産卵後、早くは40日、遅くは80日ほどで
ふ化します。

・生存率がとても低く、5000匹に1匹(0.02%)しか
大人になることができません。

◎ ウミガメの産卵について

・場所によって違いますが、屋久島での産卵期間は
4月下旬から8月上旬までです。

・ピンポン玉程の大きさの白い卵を100個くらい産卵します。

★ 千座の岩屋

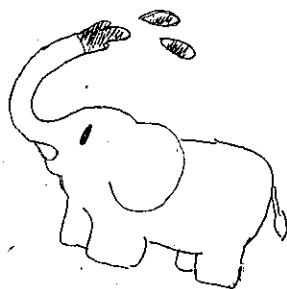
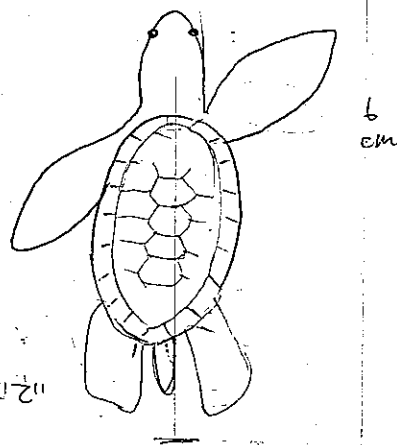
・南種子で見られる、太平洋の荒波に洗われてきた
海蝕岩があります。

◎ 千座の岩屋は見たこと

・別名、「象の水飲み」とも言われています。

・洞窟には1日2回、干潮の時に
入ることが出来ます。

・干潮の時には千人座されるとも言われています。



・洞窟は人工ではなく、自然の力で作られたもの
なので「とも見どころ」です。

◎ 注意すること

・干潮の時間を調べてから行くこと。

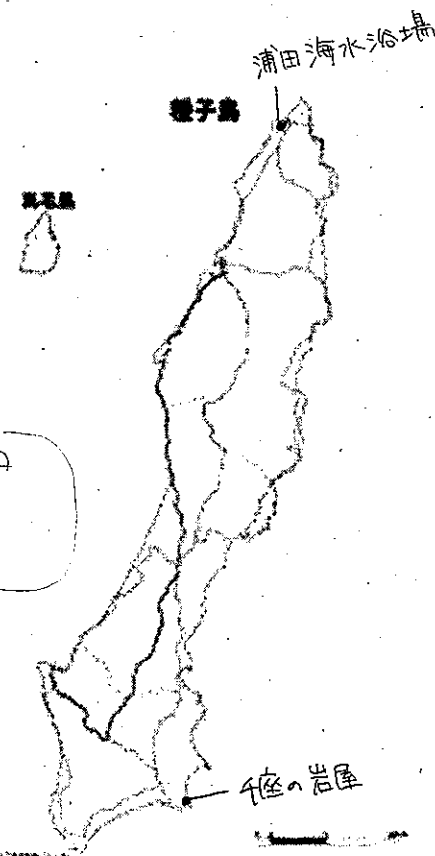
◎ 昔の千座の岩屋

・洞窟の入り口の高さはもと
高かった。

・洞窟の入り口の20m前には
鳥居があった (40年前くらい)

鳥居の上に石を乗せて
遊んでいた

・入り口が何ヶ所もあった。



※ 参考文献/出典(著者名、書名、出版社名、出版年)、HP(サイト名、URL)

(例)・井元正流『種子島』(春苑堂出版、平成11(1999)年)

・西之表市役所HP (<http://www.city.nishinoomote.lg.jp/admin/index.html>)

・NPO法人 屋久島うみかめ館

・鹿児島県/ウミガメの上陸産卵日本一

・千座の岩屋 | 観光スポット | (公式)鹿児島観光サイトかごしまの旅

評価

A: オリジナルな見解が盛り込まれている。B: 一通り書けている。C: 不十分な分量・内容。